

諏訪広域消防本部
消防職員募集



人間
求める
消防力



災害から命を守るために、皆さんの力を
求めています。
共に戦う新たな仲間になりませんか。



組織概要

消防本部

総務課

- 職員の人事 ● 消防庁舎等の維持管理
- 職員の服務・研修 ● 予算・決算等
- 職員の福利厚生

予防課

- 消防同意事務 ● 火災予防の指導・規制
- 違反是正 ● 消防用設備の設置指導
- 危険物・火薬類の指導・規制等

警防課

- 各訓練の企画・調整 ● 救急普及啓発
- 消防車両の維持・管理
- 指揮隊・特別救助隊の管理等

通信指令課

- 災害出動指令 ● 消防無線施設の維持・管理等

管轄区域

● 管轄面積

715.75平方キロメートル

● 人口

184,838人

(令和8年1月1日現在)

● 消防署所

1 消防本部、6 消防署、2 分署

● 消防職員の実員

237人

男性：227人

女性：9人

(令和8年1月1日現在)

消防署

岡谷消防署

諏訪消防署

茅野消防署

下諏訪消防署

富士見消防署

原消防署

- 災害出動（火災・救助・救急）
- 火災の原因調査
- 立入検査
- 消防水利の維持管理
- 消防団等外郭団体の事務等

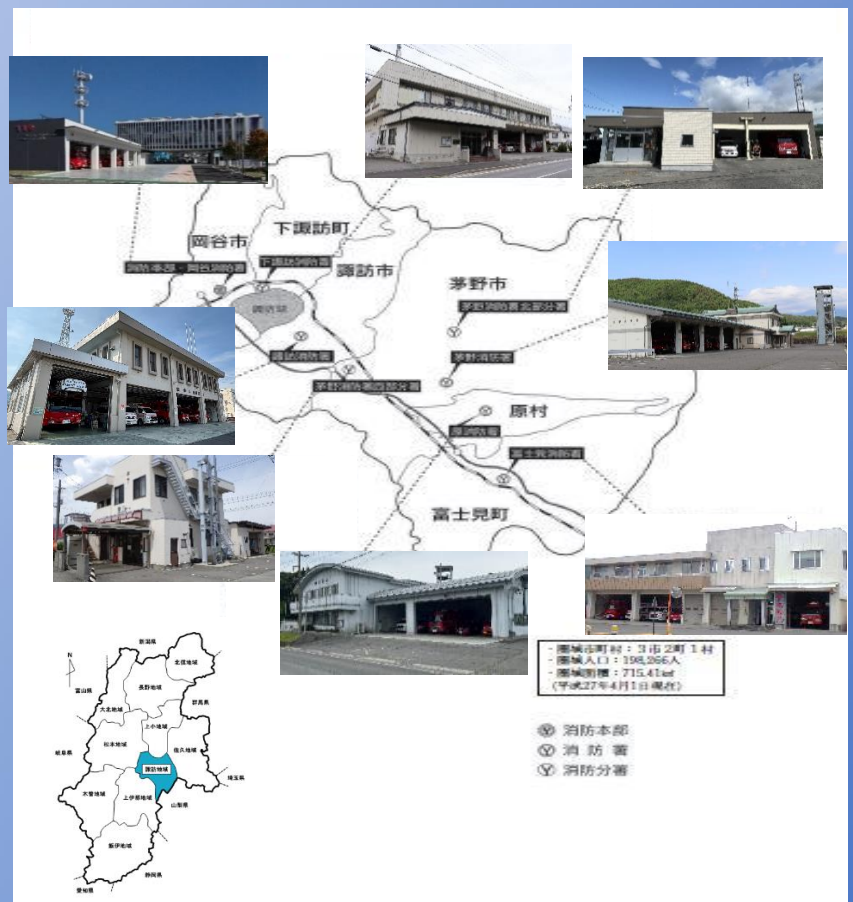
分署

茅野消防署

西部分署

北部分署

- 災害出動（火災・救助・救急）
- 火災の原因調査
- 立入検査等



消防隊

消防隊は、火災の消火活動を始め、交通事故や水難事故、地震、風水害といった自然災害など、あらゆる災害現場で人命救助などの活動を行います。

管内の全消防署・分署には、水槽に水を蓄えた水槽付消防ポンプ自動車（タンク車）が配備されています。

また、重傷者に対して救命処置を行う場合など、救急隊のみでは対応が困難な場合は、救急車に加えてタンク車・ポンプ車が出動し、連携した活動を行います。



タンク車



タンク車は、一般的な風呂の浴槽（約200L）の10杯分にあたる2000Lの水を積載しています。火災現場の直近に部署し、いち早く消火活動を行います。消火栓や河川からも水を吸い上げ放水することもできます。

ポンプ車

ポンプ車は、火災発生時、現場近くの消防水利（消火栓、防火水槽、河川等）から消火に必要な水を給水し、ほかの車両へ水を送ったり、自ら消火活動を行い



《火災出動時の装備》

個人装備である防火衣は、しころ付きの防火ヘルメット・上衣・ズボン・鋼製先芯入りのゴム長靴・ケブラー製の手袋で構成されます。災害活動現場において高熱などから隊員を守るための装備です。



火災現場では、個人装備に加え、活動に必要な資機材を身に付けます。ホースの先端では、水の出方（直射・噴霧など）を調整して消火活動を行います。また、空気呼吸器は、煙や有毒ガスが充満する環境で安全に呼吸ができるようにポンペに充填された空気を吸いながら活動します。

《火災調査》

過去の火災から学び、同じ火災を起こさない

火災調査とは、火災の原因と損害を明らかにし、将来の火災予防や警防対策に必要な資料を収集することで、市民の安全を図ることを目的としています。

火災調査の内容

- ・ 実況見分（鑑識）
何がどのように燃えていったのか、どこからどこまで燃えているかなど
写真を撮影したり、図面を書いて調査します。
- ・ 質問調査
火災の発見者や通報者から聞き取りをし、必要な情報を集めます。



救急隊

救急現場にて傷病者に適切な応急処置を行い、医療機関へ搬送します。

救急隊員の中には、高度な救急救命処置を行うことができる「**救急救命士**」の資格を取得している職員がおり、諏訪広域消防本部には約100名が在籍しています。

近年、救急救命士の資格を取得して、採用試験に臨む学生が増えています。



救急救命士

救命救急士は、救急現場で心肺停止等の重症傷病者に対して、医師の具体的な指示のもと、気道確保や薬剤投与など救急救命処置を行うことができる救急隊員です。

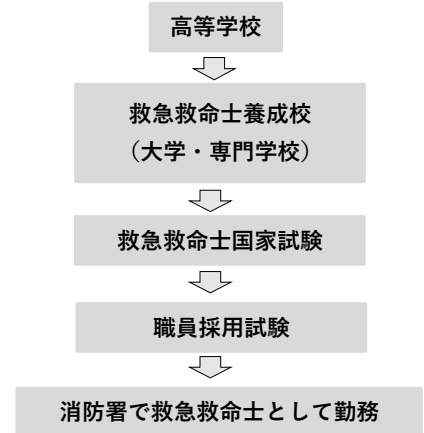
《特定行為》

救急救命士が行える救命処置は例として次のものがあります。

- ◆乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液
- ◆チューブなど器具を用いた気道の確保
- ◆アドレナリン（強心剤）の投与
- ◆気管に直接チューブを挿入する「気管挿管」
- ◆心肺機能停止前の静脈路確保と輸液
- ◆血糖測定を低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与



《救急救命士になるには？》



高規格救急車



全ての救急隊に救急救命士が乗車し、高度救急体制を維持しています。救急救命士が車内で高度な救命処置を行えるよう、広い車内スペースと高度な医療機器を備えた救急車のことです。

《広域消防と連携し、諏訪広域管内を共に守ってくれる**ドクターヘリ・ドクターカー**》



ドクターヘリ

医療機器や医薬品を装備し、医師・看護師が搭乗して救急現場等へ向かい、救命処置を行う専用のヘリコプターです。県内は長野県が配備する2機が、佐久総合病院と信州大学医学部付属病院を基地病院として運行されています。

ドクターカー

医療機器や医薬品を搭載した救急車に医師・看護師等が搭乗し、重症患者が救急車で搬送されるのを病院で待つのではなく、救急現場に医療チームを運ぶ救急車です。諏訪管内では諏訪赤十字病院が運用しています。



救助隊

救助に関する知識、技術を身につけ、火災はもちろん交通事故、水難事故、労働災害、山岳や河川の事故、自然災害など、あらゆる災害に出動して人命救助を行うプロフェッショナルです。

諏訪広域消防本部では、岡谷消防署に特別救助隊、諏訪消防署及び茅野消防署へ救助隊を配備しています。



特別救助隊



特別救助隊は、諏訪広域管内で発生した複雑かつ困難な救助事案から、尊い人命を救助するための高度な知識や技術を有する18名の救助のプロフェッショナル集団です。

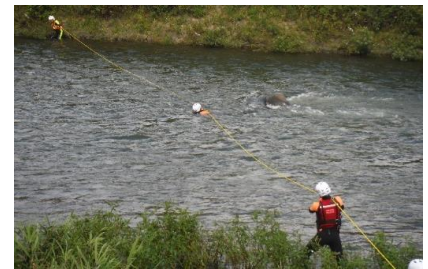
特別救助隊は、日頃から知識や技術を深め、出動の際には様々な救助資機材を有効に活用し、人命救助に万全を期することを任務としています。



山間地救助



B C災害



水難救助



アイスレスキュー



高所からの救出



都市型救助

救助工作車



交通事故や建物倒壊、自然災害などで人命救助を行うために、クレーンやウインチ、照明、破壊・切断器具など多様な救助資機材を搭載した消防の専門車両です。消防本部ごとに装備が異なり、あらゆる災害現場での救助活動を想定して配備されています。

はしご隊

火災現場において高層階に取り残された人の救出や高所からの放水を行います。また、はしごは下方向にも伸びるため、湖や河川などへ転落した人の救助も行います。

管内の中心に位置する諏訪消防署に配備しています。



はしご車



諏訪広域消防本部の保有は1台で、管内の全域を出動範囲としています。

はしごは、全長35メートルで、先端にはバスケットや放水銃を装備しています。

ドローン隊

令和6年1月、能登半島地震に伴う緊急消防援助隊応援に出動し、上空からの情報収集は非常に有用であることを確認しました。また、大規模災害時に限らず、諏訪広域管内で発生した災害事案に対しても、的確に対応するほか、あらゆる事案に対応すべく、1年間を通して、高度な訓練を行っています。



無人航空機

令和5年に総務省消防庁から、無人航空機（ハイスペックドローン）の無償貸与を受け、同年9月より運用を開始しました。出動範囲は、諏訪広域管内をはじめ、日本全国管内のあらゆる災害に対応します。



指揮隊

火災や災害現場で情報を集約し活動方針を決定しつつ、現場の全消防部隊を統括・指揮する司令塔的な消防部隊を指します。

管内には岡谷消防署、諏訪消防署、茅野消防署に指揮隊を配備しています。



指揮車



火災や災害現場で現場本部となり、隊員や車両の活動を統制するための指揮拠点機能を持つ車両です。無線機や指揮台、資料類を備え、現場指揮官が乗車して出場します。

消防本部

総務課（職員管理・予算）、予防課（許認可・行政指導）、消防課（訓練企画・装備管理）、通信指令課（指令センター運用）で組織され、現場の職員をバックアップしています。



消防指令センター

119番通報を受けて内容を聴取し、消防車・救急車などの出動指令と現場支援通信を一元的に行う部署であり、あわせて消防通信施設の整備・保守や災害情報・気象情報の収集も担います。

諏訪圏内6市町村からの通報に対応できる最新鋭の通信指令設備が整備されています。



▶▶通報から出場まで▶▶

場所と災害の種別が確認できたら、通報者から状況を聞きながら部隊を選び、出動指令を出します。

わかりました
消防車が
向かいます



送られてきた



出 動



拠点機能形成車

拠点機能形成車は、大規模災害時に緊急消防援助隊の活動を支援するため、隊員の宿営や指揮本部としての機能を提供する特殊車両です。総務省消防庁が各都道府県に1台ずつ配備を進めています。

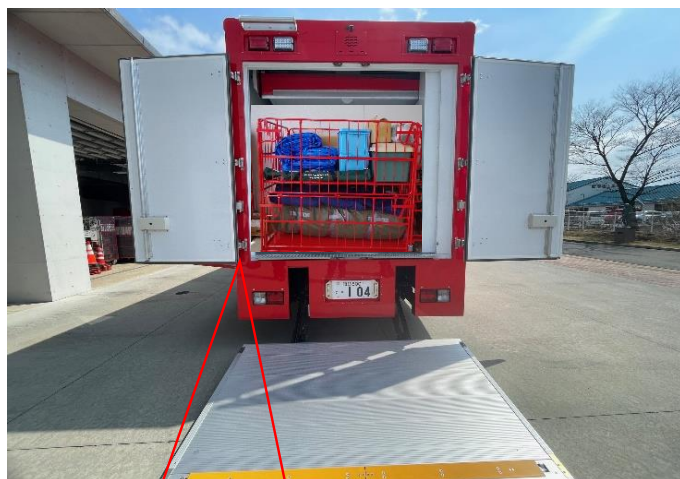


拠点機能形成車の主な機能

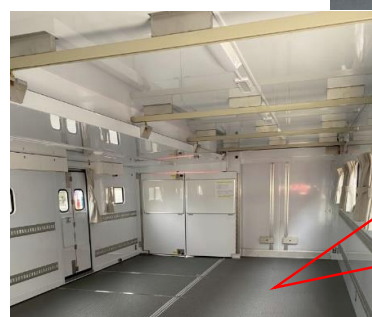
宿営設備: 大型エアーテント、簡易ベッド、寝袋などを搭載し、最大100人が寝泊まりできます。

生活支援設備: シャワー室、ボイラー設備、調理設備、発電機、簡易トイレ、浄水器などを備え、隊員の自給自足に近い活動を支援します。

指揮本部機能: 車体側面が拡張可能で、約40㎡の広いスペースを確保できます。このスペースは指揮本部やミーティングルームなど災害拠点の中核として活用されます。



大型コンテナにエアーテント等の資機材を積んで搬送します。



搬送してきた資機材を下した後、ボディを拡張させることで活用できます。



交替制勤務と仕事内容

《消防署の1日》

8:30 勤務交替（前の当直者から引継ぎ）

前日より勤務している職員と勤務の交替を行います。引継ぎの際、服装点検や車両・資機材などの点検を行います。



9:00 申し送り・ミーティング

前日の災害発生状況や各隊の1日の予定について確認したり、管内の通行止め等の道路情報を全員で有します。



10:00 訓練・調査

訓練は、資機材の取扱い訓練や、部隊の連携訓練など、火災・救急・救助等、あらゆる災害を想定して行います。



災害出場（救急・火災）



18:00 休憩（夕食）

夕食は、庁舎内の厨房で職員が協力しながら作ります。



20:00 事務処理・体力錬成

各種報告書の作成やそれぞれの担当の事務処理をしたり、消防活動に必要な体力向上のため、体力錬成を行います。



23:00



仮眠（災害があれば出動）

6:00

8:30 勤務交替（次の当直者へ引継ぎ）



《交替制勤務は3部制》

(例)

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
当	非	休	当	非	休	当
8	9	10	11	12	13	14
非	休	当	非	休	当	非
15	16	17	18	19	20	21
休	当	非	休	当	非	休
22	23	24	25	26	27	28
当	非	休	当	非	休	当
29	30	31	1	2	3	4
非	休	当	非	休	当	非

当 = 当直勤務日 非 = 非番日 休 = 週休日

諏訪広域消防本部の当直勤務は、3つの班が交替で勤務をする3部制の交替制勤務としています。

当直勤務日、非番日、週休日を繰り返し、土日・祝日などの休日に関係なく勤めています。

当直勤務とは、午前8時30分から翌日の午前8時30分までの勤務のことを言います。この24時間の中には、休憩時間や仮眠時間も含まれています。

消防本部（3課）の職員は、朝8:30から17:15までの毎日勤務です。（土日祝休み）

昇給・給与

消防吏員として採用されると、まずは「消防士」としてスタートします。その後は、年数や経験によって1つずつ階級がステップアップしていきます。



R8. 4月現在

区分	上級	中級	初級
初任給	232,000円	216,500円	200,300円

諸手当として、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、特殊勤務手当、期末手当、勤勉手当、寒冷地手当等が職種、勤務形態、支給条件等に応じて支給されます。

採用後は、長野県消防学校へ

採用されると消防士としての基礎知識習得のため、長野県消防学校（初任科）へ入校します。約6ヶ月間、県内消防本部から集まった仲間とともに全寮で団体生活を送ります。



宿泊棟



訓練塔



室内訓練場

《消防学校の一日》

日 課	時 間		日 課	時 間	
起 床	6時30分	放送（校歌）により起床	第4時限	13時00分～ 13時50分	午後は活動服等で実科訓練
点呼・清掃・朝食	6時50分～ 8時00分	学校内の清掃をし朝食	第5時限	14時00分～ 14時50分	 降下訓練
日直・寮直 勤務交代	8時10分	前日の当番者から当日の当番者へ交代	第6時限	15時00分～ 15時50分	
通常点検	8時40分	 建物進入訓練	第7時限	16時00分～ 16時50分	体力向上のための筋トレや 実科訓練で学んだことの復習 など自己啓発を行います
第1時限	9時00分～ 9時50分	午前中は制服にて座学	自己啓発 夕食 入浴	17時00分～ 20時50分	
第2時限	10時00分～ 10時50分		点 呼	21時00分	宿泊棟内で点呼
第3時限	11時00分～ 11時50分		自習時間	21時00分～ 22時00分	各寮室にて自習
昼食・休憩	12時00分～ 13時00分	午後の訓練に備えて 栄養満点のメニュー	消灯・就寝	22時00分	就寝中には夜中の災害を想定した 突然の訓練を行うことも…

《実科査閲・卒業式》 10月の卒業式では、家族や友人を呼んで、半年間の研修の成果を発表します。



職員メッセージ

消防士を目指した理由

小学生の頃の消防署見学で、女性消防士募集のポスターを目にしたことや、その後の職場体験で女性職員の方と出会い、救急救命士という資格を知ったことが将来を考える大きなきっかけとなりました。大好きな地元と地元で暮らす人たちの身近な存在として働きたいと考え、消防士を志しました。

実際に働いてみて

消防の現場では、力や体格の差以上に、さまざまな考え方や立場の人や命と向き合う難しさを感じています。その中で、互いを理解しながら1つのチームとして活動することの大切さを学びました。そうした日々の経験を重ねる中で、かつて憧れを抱いていた方々と同じ職場で働いていることは大きな励みであり、日々の原動力となっています。一つひとつの経験を糧に、現場や訓練に向き合い、挑戦と努力を積み重ねていきたいと感じています。

消防士を目指している人へ

消防の仕事は現場活動だけでなく、火災を未然に防ぐ予防業務や、通報者から短い時間で情報を聴取し出動指令を行う通信指令業務など様々な役割があり、それぞれの立場で地域の安全を守っています。自分なりの目標や課題を持ちながら、やりがいを見つけ成長していけるところも消防の仕事の魅力だと思います。いつか同じ現場で一緒に働ける日を楽しみにしています！



下諏訪消防署

職員

(令和4年4月採用)

消防士を目指した理由

人命救助をテーマにした映画をみたことがきっかけで「人の命を守る仕事をしたい。」と思うようになりました。中学生の頃、職場体験で地元の消防署へ職場体験に行き、業務を体験させていただく中でその責任とやりがいを肌で感じ、消防士を目指ようになりました。

実際に働いてみて

消防士として火災・救急・救助・予防など多岐にわたる業務に携わり、大変さを感じることもありますが、どの分野も人の役にたてるやりがいのある業務です。また、出動中や地域活動している中では子供たちから手を振る場面もあり、地域から期待されている職業であることを実感しています。

消防士を目指している人へ

消防の仕事は、一人ではなくチームで活動します。互いに支え合いながら、人の命や暮らしを守る仕事です。少しでも「誰かの役に立ちたい。」という気持ちがあれば、ぜひ一緒に諏訪広域消防本部で働きましょう。



下諏訪消防署

職員

(令和6年4月採用)

消防士を目指した理由

大学生の頃、災害看護学という講義で、DMATの活動や消防・警察等の関係機関との連携について学びました。その中で看護との職種や専門性の違いはありますが、助けを求めている人に対して一番初めに接することができ、一番初めに安心を感じてもらえる存在として消防をやりたいと思い目指しました。

実際に働いてみて

働き始めて2年目になりますが、消火活動や救急業務だけでなく救助活動、予防業務、訓練など日々学ぶことの多い職業だと実感しています。加えて茅野消防署では、ドローンでの活動も行います。いまだに慣れないこともありますが、日々成長できることの楽しさを感じながら働いています！

消防士を目指している人へ

消防という職業は、救急隊、救助隊、消火隊など立場や内容は違えど助けを求めている人に安心を与えられる、身近な存在だと思っています。緊張感のある仕事ですが、オン・オフをしっかりとしているため当直でご飯を作るときなど楽しい時間もあります。ぜひ地域住民の暮らしを守る仕事をしてみませんか。



茅野消防署

職員

(令和6年4月採用)

消防士を目指した理由

幼い頃から消防という職業に憧れがありました。学生時代の部活動等で救急隊の活動を見て、興味が湧いたことをきっかけに救急救命士という資格があることを知りました。私も同じように困っている方を助ける仕事に就きたいと思い消防職員を目指しました。

実際に働いてみて

私の想像以上に火災出動や救急出動などがありました。一人では何もできず、チームワークの大切さを学び、出動する中で危険な現場も多くあります。様々な現場に対応できるよう、日々の業務にこれからも取り組んでいきたいと思っています。

消防士を目指している人へ

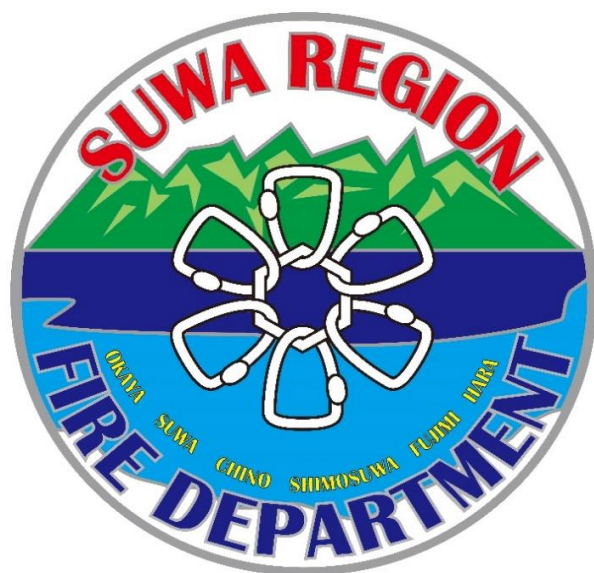
入庁後も、日々勉強し学ぶことが多いですが、助けるための一歩だと思っています。やりがいを感じることも増え、誰かのために働ける仕事であると感じています。ぜひ自分の強みを活かしながら、私たちと諏訪広域消防本部と一緒に働きましょう。



諏訪消防署

職員

(令和7年4月採用)



お問い合わせ

諏訪広域消防本部 総務課

〒394-0003

岡谷市加茂町一丁目2番6号

TEL:0266-21-1190

FAX:0266-21-2119

令和8年3月更新